

令和三年五月十日提出  
質問第一二二八号

新型コロナウイルス向けワクチン接種の副反応に伴う補償適用状況に関する質問主意書

提出者 松原 仁

## 新型コロナウイルス向けワクチン接種の副反応に伴う補償適用状況に関する質問主意書

新型コロナウイルス感染症に対するワクチンの国民的な予防接種が進められている。ワクチン接種による集団免疫の獲得は、感染症蔓延による社会の崩壊に対する一定の防壁になることが期待される。同時に、ワクチン接種に伴う副反応の発生は低い確率であったとしても、不可避な事象であると認識している。国民に対してはワクチンの安全性とともに、そのリスクも丁寧に説明し、またそうした危険性への万全の補償体制が構築されている旨、透明性をもって周知されるべきと考える。そこで以下質問する。

一 国内における新型コロナウイルス接種が原因となり死亡や重篤な健康状態に陥った場合、どのような補償が行われるか。

二 国内で、新型コロナウイルス感染症に対するワクチンを本年四月末までに二回接種された者の人数は几人か。把握していれば十代、二十代、三十代など、接種時点での年齢カテゴリごとの内訳も答えられたい。

三 二に関連して、二回接種後、一か月以内に死亡が認知された者の数は何人か。把握していれば、年齢カテゴリごとの内訳も答えられたい。

四 三に関連して、年齢カテゴリごとのワクチン接種後一か月以内に死亡した者の割合は、わが国において同じ年齢カテゴリ内の者が一か月間で死亡する割合と比較してどの程度差異があるか。

五 三に関連して、ワクチン接種とその者の死因に関連性が疑われるものは何件あるか。また、遺族や関係者からワクチン接種とその者の死因の因果関係への疑念を申し出られた件数は何件あるか。

六 三に関連して、二回のワクチン接種後に死亡した者のうち、予防接種法上の健康被害救済制度の対象となつた件数は何件か。把握していれば年齢別にお示しいただきたい。

七 二に関連して、二回のワクチン接種後に、死亡した者以外で、予防接種法上の健康被害救済制度の対象となつた件数は何件か。把握していれば年齢別にお示しいただきたい。

八 一から七に関連して、これらの情報は学会や医療関係者にどのように共有されるか。

九 一から七に関連して、今後多くの国民がワクチンの安全性と政府のワクチン政策への信頼を持ちうるために、これらの数字を平易な形式で、テレビCMや新聞広告、インターネット等の手段を用いて積極的に広報することが有意義と考えるが政府の認識は如何。

右質問する。